

今年1年の地域の皆さまからのご理解とご協力に感謝いたします



東通原子力発電所の再稼働に向けた適合性審査が進んでいます

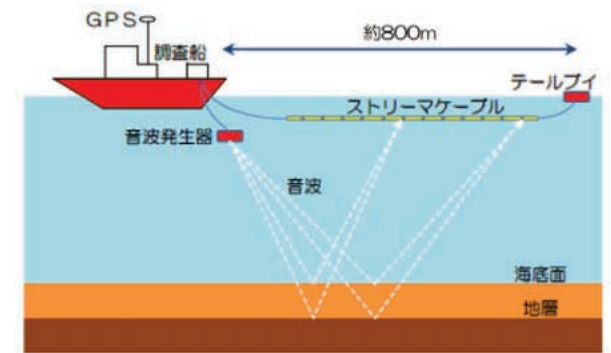
当発電所の新規制基準に関わる適合性審査については、昨年11月、敷地内断層に関する初めての審査会合が開催され、今年に入ってから本格的な審議が進められています。

当発電所では、審査での説明性向上を図るため、今年4月より、発電所敷地や敷地北方の海域等において、調査船や起震車を用いた補足調査を行い、断層の地下の構造を確認しています。また、敷地内断層の一部や、敷地近傍の断層において「ボーリング調査」を実施し、断層の活動年代に関するデータの取得を行っています。さらに、今年6月からは、耐震重要施設直下の断層について「トレンチ調査」の掘削範囲を広げ、観察・分析等を行っています。

審査会合では、こうした調査のデータ等も一部示しながら、「敷地内断層について、震源として考慮する活断層ではない」「耐震重要施設等の直下にある断層は、将来活動する可能性のある断層等ではない」との説明を行っています。

去る12月1日、2日には、これまでの当社説明内容の確認のため、原子力規制委員会による発電所敷地内および敷地周辺の断層等の現地調査が行われました。

今後とも、安全を最優先に再稼働に向けて着実に前進するよう、審査への対応に全力を尽くしてまいります。



調査船による海上音波探査(イメージ)



起震車による海陸連続探査

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります

～写真で振り返るこの1年～

東通村歩くスキー大会
(2月21日)



実行委員会のメンバーとして、大会運営のお手伝いをしました。

尻労地区ジオサイト清掃活動
(7月9日)



6月から練習に励んできた成果を存分に発揮し、躍動感溢れるダイナミックな踊りを披露しました。

ひがしどおり来さまいフェスタ
(8月28日)



来場されたお客さまに無料でコーヒーを提供しました。

東通村産業まつり
(10月30日)



発電所員および協力会社社員が参加し、可燃ごみや空き缶などのごみを回収しました。



国道338号線清掃活動
(5月16日)

下北ジオパーク構想の実現に向け、空き缶などを拾い集めました。



ひがしどおり虹色マルシェ
(7月16日)

弦楽四重奏による東北電力ミニコンサートを開催しました。



東通中学校 環境・エネルギー教室
(10月27日)

発電自転車による体験を交えた学習を行いました。